



神戸大学起業部

KOBE UNIVERSITY INNOVATION CLUB



サッカー部が
サッカーをするがごとく

起業部は**起業**します



WHAT IS INNOVATION CLUB?

素晴らしい仲間と、 素晴らしい未来を創ろう

神戸大学起業部は、本気で起業したい学生のために2022年に設立された神戸大学 学術・社会共創機構が公認する部活動です。部員が考えた新たなビジネスプランをもとにチームを編成し、起業に向けて実践的な活動を行っています。同じ志を持った仲間と共に学び、高め合い、未来社会をより良くするビジネスを共創していきます。

活動内容

部員が考えた新たなビジネスプランをもとにチームを編成し、ビジネスプランを磨き上げ、プロトタイピングを行い、国内外のビジネスコンテストに応募しながら起業を目指します。



我々が目指していること

#MISSION 使命・存在意義

凡事徹底で挑み、社会変革を

#VISION 目指す状態・姿

- ◆ 凡事から非凡へ
- ◆ 日本一「起業家を生む」学生組織

#VALUE 目標

- ◆ 起業部発スタートアップを10年で30社創出する
- ◆ ビジネスプランコンテストで毎年、全国優勝する

#活動場所

学術・社会
共創機構棟

#活動日

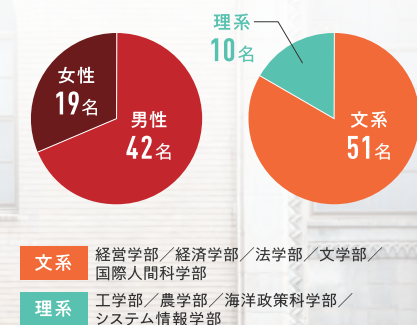
毎週 月 木

(17:30~20:30)

※試験期間中、夏季休暇中、
冬季休暇中などオフ日あり

部員構成

学部1年生から大学院博士課程まで全61名
(事業創造チーム52名、マネジメントチーム6名、エンジニアチーム3名) (2026年5月現在)



2026年度 年間活動スケジュール

4月

- ◆ 新入部員募集
- ◆ 入部説明会

5月

- ◆ 結成式

6月~9月

- ◆ 新歓合宿
- ◆ スタートアップの基礎知識習得
- ◆ チーム編成、ビジネスプラン作成
- ◆ FES

現役の起業家や投資家などによるゲストセミナー(月1回程度)

10月~2月

- ◆ ビジネスプランコンテストへのエントリー&出場
- ◆ 卒部式

3月

- ◆ チーム活動の振り返り
- ◆ 次年度の体制整備

チームで事業創造を実践していくプロセスの中で経験学習サイクルを積み重ね、仲間とともに事業プランと自らのアントレプレナーシップを磨いていきます。

＼ 起業部でできること /

起業部員は起業部から「何が与えられるか」ではなく起業部(仲間)のために「何ができるか」という姿勢が望まれます。

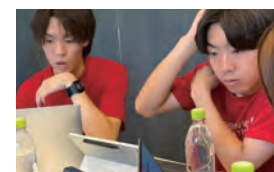
部活動で学ぶ経営理論やビジネススキル、起業家や投資家との出会いの機会、部室のPCや書籍の利用など、

この環境を存分に活用して自分とチーム、事業の成長につなげていきましょう。

01

自分のやりたい事業を考え、 磨き続けられる

ビジネス構想に必要な基礎知識をインプットした上で自分のやりたい事業プランを考え、提案します。それからチームを作り、協働的に事業プランの完成度を上げていきます。



02

同じ志を持つ仲間と繋がり、 生涯の友情を育む

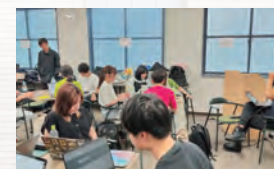
チームの事業プランを部員間で共有し、新たな発見と刺激を得ています。仲間のアドバイスが視野を広げ、お互いの情熱と創造力を高め切磋琢磨しています。



03

起業やビジネスに活かせる 理論と実践を経験的に学べる

スタートアップの基礎知識や、ピッチ資料の作り方などを学んだ上で、その理論を実践に活かすという形で経験学習サイクルを回していきます。



04

スタートアップ関連イベントや 実務家とのアクセスが増える

スタートアップや起業を専門とする教員、著名な起業家や投資家のセミナー受講、イベントに参加できるのも起業部ならではの魅力の一つです。



#INTERVIEW

一緒に未来を創ろう

神戸大学起業部は、文字通り、神戸大学の学生が起業するための部活動です

私は、「起業論」を専門とする大学教員ですが、これまでに「起業したい」「スタートアップに興味がある」という学生からの相談を数多く受けてきました。講義を受けて興味を持ち、「とにかく行動することが大事だ」といわれたものの、具体的にどう行動していいかわからないというわけです。「起業したい」という学生が、目の前にいるのに、何の手立ても打てなければ、「起業論」を教える教員としては失格です。

「人脈もない」「経験もない」「お金もない」学生が起業するためには、学生と真剣に向き合い、起業するための方法論を教え、一緒に起業に向けてビジネスプランをブラッシュアップし、起業したあとも伴走者として支援していく必要があります。

主役は、学生の皆さんです。「神戸大学起業部」の門をたたき、一緒に未来を創っていきましょう。

神戸大学起業部 顧問
(学術・社会共創機構 教授)
熊野正樹



TEAM MEMBER

多彩な学生が集まり、切磋琢磨しながら活動している神戸大学起業部。

各事業創造チームに所属するメンバーと事業内容、また起業部を支えるマネジメントチーム、エンジニアチームをご紹介します。

法人設立チーム



Plastruclub

青春を未来へつなぐブカツを創る

法人名 Plastruclub株式会社

事業名 次世代のブカツ創造事業

教員の長時間労働と少子化を背景に全国的に部活動の地域展開が進む一方、指導者・財源不足で受け皿が整わず、生徒が仲間と好きなことに打ち込む機会が失われつつあります。大学生指導者ネットワークと企業連携の新型収益モデルで、誰の負担にも依存しない持続可能なブカツモデルを実現します。

Message

100年後も子どもたちが当たり前で青春を謳歌できる社会をつくります。

代表
藤野 心一／工学部／3年
森下 日菜子／経営学部／4年
桑原 青也／国際人間科学部／3年
古梶 慎太郎／経営学部／4年

ゲームで育む次世代を生き抜く力

法人名 Standy株式会社

事業名 小中高生向けアントレ教育事業

主に小学生向けに、大学生メンターとともに探究・ビジネス体験ができる教育プログラムを提供しています。独自開発の起業家マインドを育てるボードゲーム『みらいクエスト』などのコンテンツを通して、変化の激しい時代を生きる子どもたちの「考える・つくる・伝える」力を育むことを目指しています。

Message

次世代を切り拓く子どもたちに、「ワクワク」と「キラキラ」をStandyのアントレ教育で届けていきます！



代表
大西 拓斗／法学部／4年
石川 咲良／経営学部／3年
伊藤 龍成／国際人間科学部／2年
日野口 菜央／文学部／2年

NEXT CHALLENGE 次なる挑戦

vivinity

訪日客向け地域体験予約
プラットフォーム事業



代表
刈 恵梨子／経営学部／2年
石川 雷治／経営学部／2年

観光で地域の未来を創ります

粕結

アルコール入り
大人向けグミ開発販売事業



代表
田中 美織／農学部／2年
富田 宗助／経営学部／2年
齋 陽生／経営学部／3年
朝井 海翔／国際人間科学部／3年

お酒の新たな楽しみ方を

Power Of TERA

仏壇の回収・
再資源化事業



代表
狹霧 優／経営学部／2年
中川 真之介／経済学部／3年
岡田 沙羅／国際人間科学部／2年

変わらない価値を届けます

Graticle

大学生向け
リアルコミュニティ事業



代表
小部 菜都希／経営学部／2年
川村 耕毅／経営学部／3年

出会いが生む可能性にける

Management Team マネジメントチーム

一人ひとりの挑戦を本気で支える

私たちは、部員が事業づくりに集中できる環境を整え、組織運営を通じて起業部を支える「創る」存在です。FESや合宿などのイベント運営、広報活動による認知度向上、コーチングを活用した人事・組織づくりを通じて、部の一体感を生み出します。さらに、企業・起業家・VCとの連携を担い、起業部に新たな機会と支援をもたらす橋渡し役を果たします。

Message

日本一の部活を支える日本一のマネジメントチームに。一人ひとりの「やりたい」をかたちにできる場をつくり、組織の成長と個人の挑戦が両立する環境を整えます。



後藤 理乃／経営学部／2年
渡邊 花音／国際人間科学部／2年
吉見 孝太郎／経営学部／2年
菊池 桐矢／経済学部／1年
長渡 結磨／経営学部／1年
中川 はるか／経営学部／1年

TERA TOURISM



代表
高橋 英眞／農学部／4年

特別な旅を届け、寺院文化を次代へ

法人名 株式会社TERA TOURISM

事業名 地域文化資源を活用した観光事業

檀家の減少や家族葬の増加で収入不足に悩む寺院向けに、庫裡をリノベーションし、その地域でしか出会えない体験と宿泊を届ける和のリトリート事業を提供しています。地域と共に歩み、文化を次の世代へとつなぐ、中長期的な文化振興のパートナーを目指しています。

Message

「ほどける、ととのう、癒しの時間」で寺院を、次の100年へ紡いでいきます。

Engineer Team

エンジニアチーム

起業部の事業班が描くアイデアを素早く形にするため、MVPの企画・設計・開発をサポートします。また、起業部内の業務をより効率よく進めるためのツール開発や仕組みづくりも担当しています。技術の力でチーム全体の挑戦を後押しし、アイデアが世界に出るまでを支えます。

Message

アイデアを現実にするのが仕事です。みんなのアイデアと一緒に動かし、技術で起業部の可能性を広げていきます。

個性と熱意あふれる新しい仲間を迎え、さらなる挑戦へ！

2026年度
新入部員！



SPECIAL TALK

神戸大学起業部から新たに誕生したPlastruclub株式会社、Standy株式会社、株式会社TERA TOURISM。いずれも仲間と切磋琢磨しながらビジネスコンテストに挑み、法人化を果たした学生発スタートアップです。各代表を迎え、入部当初の志や起業への軌跡、そしてこれから挑戦する後輩たちへの熱いメッセージを語ってもらいました。

在学中に起業を果たした3名の起業家



Plastruclub株式会社

法人設立日:2026年2月11日

代表取締役

森下日菜子さん(経営学部4年)



Standy株式会社

法人設立日:2026年5月5日

代表取締役

大西拓斗さん(法学部4年)



株式会社TERA TOURISM

法人設立日:2026年5月18日

代表取締役

高橋英眞さん(農学部4年)

Q1 起業部に入ったきっかけは何でしたか？

森下:私は高校時代、「起業家ほど自分の人生を生きられる仕事はない」と楽しそうに、かっこよく語る女性起業家と出会ったことがきっかけです。こんな生き方がしたい、こんな人になりたいと強く思い、大学入学と同時に入部しました。

大西:高校時代にNECや自治体と連携した課

外活動に参加し、アイデア作りや価値提供の魅力に気づきました。教育やビジネスに関わる手段を模索する中で、起業部の体験会でキラキラした先輩の姿と顧問の熱いメッセージに触れ、「ここに自分の大学生活を捧げたい」と思ったことが、入部の決め手です。

高橋:中学3年生の頃から取り組んでいたシ

ロアリ研究でリバネス社の支援を受け、その頃からベンチャーの講演にも触れていました。科研費トップクラスの近藤先生のバイオものづくりに惹かれて神戸大学へ進学。新歓で起業部の存在を知り、研究室配属までにビジネスを学びたいと考え、入部を決めました。

Q2 事業を始める中で、「本気でやる」と決めた瞬間はいつでしたか？

大西:一つ目の転機は、昨年5月に結成した新チームで共に起業したいと思えるメンバーに出会えたこと。二つ目はクラウドファンディングで多くの方に支援いただいたことです。その期待に応えるべく、学生の枠を超えた本格的な事業として価値を届け、恩返ししたい

と決意しました。

高橋:シロアリ事業で多くの応援をいただく中で、登記のタイミングを判断するための意思決定軸を立てました。それに照らすと、シロアリはまだ先だと感じた一方、実家である盛松寺を手伝う中で、「寺院を次の100年へ紡

ぐのは今しかない」と確信。周囲からも多くの共感を得られ、本気で取り組むきっかけになりました。

森下:私は最初、自分が起業するとは全く思っていませんでしたし、覚悟もなかったです。でも、実証事業で子どもたちの笑顔を見て、先生方の悲痛な声を聞くうちに、「この場がなくなるのはあり得ない。先生の負担に依存する仕組みではいけない。私がやるしかない」と覚悟が決まりました。そんな中、剣道部に所属している高校生の妹が、最後の大会で高校史上初の成果を打ち出した瞬間を、家族みんなで会場で応援していた時のことです。母も泣いていました。もしこの場がなくなっていたら、この瞬間はなかったかもしれない。そう思った時に、「この体験を守らなければ」と本気で覚悟が決まりました。



Q3 起業部で一番鍛えられたことは何ですか？

森下:「凡事徹底」。小さな約束や連絡、準備の一つひとつが信頼につながることを、起業部で学びました。何の実績もない学生だからこそ、当たり前のことを徹底する姿勢が最も大切だと感じています。

高橋:私は「分かりやすく伝える力」と「言語

化力」です。もともと研究者として徹底的なインプット癖があったので、質疑応答には答えられました。ただ、問いに対して簡潔に答えることや、スライドをワンスライド・ワンメッセージで構成することは、起業部で徹底的に鍛えられました。

大西:「人間力」です。ビジネス知識は他でも学べますが、起業部という唯一無二の環境だからこそ、応援される人間としての在り方や姿勢を体得できたと思います。圧倒的な同期・先輩・後輩と出会ったことで、自分をより磨き、高めたいと思うようになりました。

Q4 3人から見て、起業部はどんな場所だと思いますか？

大西:自分の人生を変え、素晴らしい人との出会いを生み出してくれる場所です。本気のメンバーが集まり、チームで社会を変えることに挑んでいる。一人ではなく、仲間と共に挑戦、努力し、認め合いながら成長できる、これ以上ない最高の環境だと思います。

森下:私にとって、自分の「できる」可能性を広げてくれた場所であり、今では帰る場所です。熱い同期やライバル、追いかけてくれる後輩、志ある先輩がいて、ここ来ると「やらなきゃ」と自然と身が奮い立ちます。

高橋:主体性を育み、視座を高めてくれた場

所。フリートークの文化や、2年目部員がDemoDayまでの3か月講義の全体設計やメンターを担う制度をつくったこと、30人規模の組織運営を設計したことなど、多くの実践の機会に恵まれました。また、先輩起業家やVCの講演をたくさん聞いたことも、貴重な経験です。

Q5 次に続く後輩たちへ、伝えたいことは何ですか？

森下:大学1年生の頃の私は、同期の誰よりも普通的女子大生でした。必要なのは、やり切る力。本当にやるか、やらないかだけだと思います。私もまだまだ走り出したところですよ。一緒に世界を変えましょう。

高橋:まず、「起業という選択肢を知る」「先輩起業家から学ぶ」、その入口自体に価値

があると思います。私が大切にしているのは、自分が一番「下」のコミュニティへ飛び込み続けること。語るのは簡単ですが、実践には圧倒的な行動量が要ります。とにかく手を動かしてみてください。

大西:私の成長のきっかけは、尊敬しながらも劣等感を抱いていた同期に「負けたくな

い」と思い、本気になったことです。悔しさをエネルギーに変え、仲間と切磋琢磨しながら、毎日全力で取り組んでほしいです。毎日の少しずつの積み重ねと、素晴らしい仲間との出会いが、必ず自分を変えてくれると思います。

全国大会4年連続日本一

2022年

チャン5

【メタバース上のオタク・コミュニティ事業】

- ◆第19回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会 経済産業大臣賞

2024年

SkinNotes

【アトピー性皮膚炎の患者向け緑茶染めインナーシャツ開発事業】

- ◆大学SDGs ACTION! AWARDS 2025 グランプリ

2023年

FairMed

【AIによる血管内手術ナビゲーションシステム開発事業】

- ◆第20回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会 文部科学大臣賞・テクノロジー大賞(グランプリ)
- ◆JUMP VOL.3ファイナル 優秀賞(グランプリ)
- ◆令和5年度起業家甲子園全国大会 総務大臣賞(グランプリ)
- ◆第10回Japan Business Design&Action Award 2023-2024 グランプリ

2025年

Plastruclub

【次世代のブカツ創造事業】

- ◆第23回学生ビジネスプランコンテスト 最優秀賞(グランプリ)

神戸大学起業部は、創設以来4年連続ビジネスプランコンテストで全国優勝しています。

06

07

概要

名称:神戸大学起業部
運営:神戸大学 学術・社会共創機構
設立:2022年5月
部員数:61名(2026年5月現在)

顧問:熊野正樹(学術・社会共創機構 教授)
協力教員:浅岡陽介(客員教授)
事務局:小池美穂、西岡穂

＼ 起業部の仲間になろう！

毎年4月に
部員を募集
しています

- 事業チーム** スタートアップを立ち上げたい、創業チームの一員として事業創出したい神戸大生
- マネージャー** 起業部のマネジメントを通じて、自ら成長し、起業部の発展に貢献したい神戸大生
- エンジニア** プログラミングや開発で事業を形にし、起業部の挑戦を支えていく神戸大生

#MAP



ACCESS

阪急「六甲」駅から徒歩約15分、または神戸市バス(阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から):
36系統 鶴甲団地行乗車→「神大文理農学部前」下車すぐ

#CONTACT

公式
SNS

LINE
公式アカウント



Instagram
@kobeuni_kigyoubu



X
@kobekigyoubu



〒657-8501
神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学 学術・社会共創機構棟3階
TEL:078-803-5948
MAIL:ksui-entre@office.kobe-u.ac.jp

<http://www.innov.kobe-u.ac.jp/entre/>



＼ 協賛企業募集中！

神戸大学起業部の活動に
共感し、ご協賛いただける
皆さまを募集しています